

航空電子グループ  
おかげさまで **60周年**

Technology to Inspire Innovation

**航空電子**

# 2012年度決算及び2013年度通期見通し 説明会

6807 日本航空電子工業株式会社  
社長 秋山保孝

2013.5.9

- I . 12年度決算**
- II . 13年度通期見通し等**
- III . 質疑応答**

# 1. 12年度決算(連結)

## ほぼ公表値通りの業績を確保

(単位:億円)

公表値	売上	営業利益	経常利益	純利益
	1,300	90	80	50

(単位:億円)

1,296  
(115%)

1,300  
1,200  
1,100  
1,000

売上  
(前年比)

(単位:億円)

100.0  
80.0  
60.0  
40.0  
20.0  
0.0

1,106  
(106%)

1,124  
(102%)

132%

134%

157%

86

77.4

50.6

営業利益  
経常利益  
純利益

63.4

55.6

34.3

65.2

57.7

32.3

10

11

12

年度

期中平均為替レート  
(円/\$)

85.73

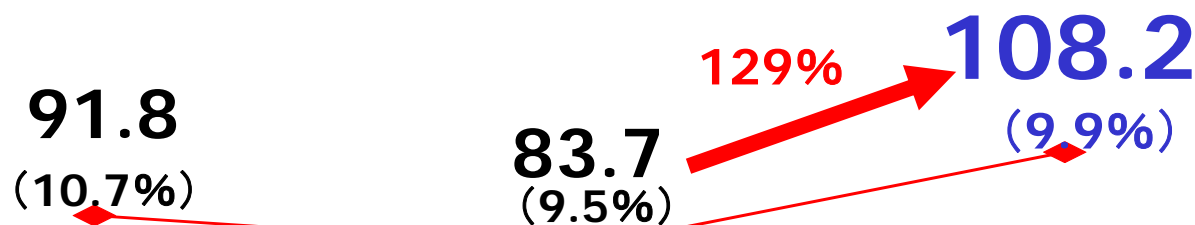
79.08

82.91

## 2(1). セグメント別売上 コネクタ事業

## スマートフォンと自動車が牽引

(単位: 億円)



120

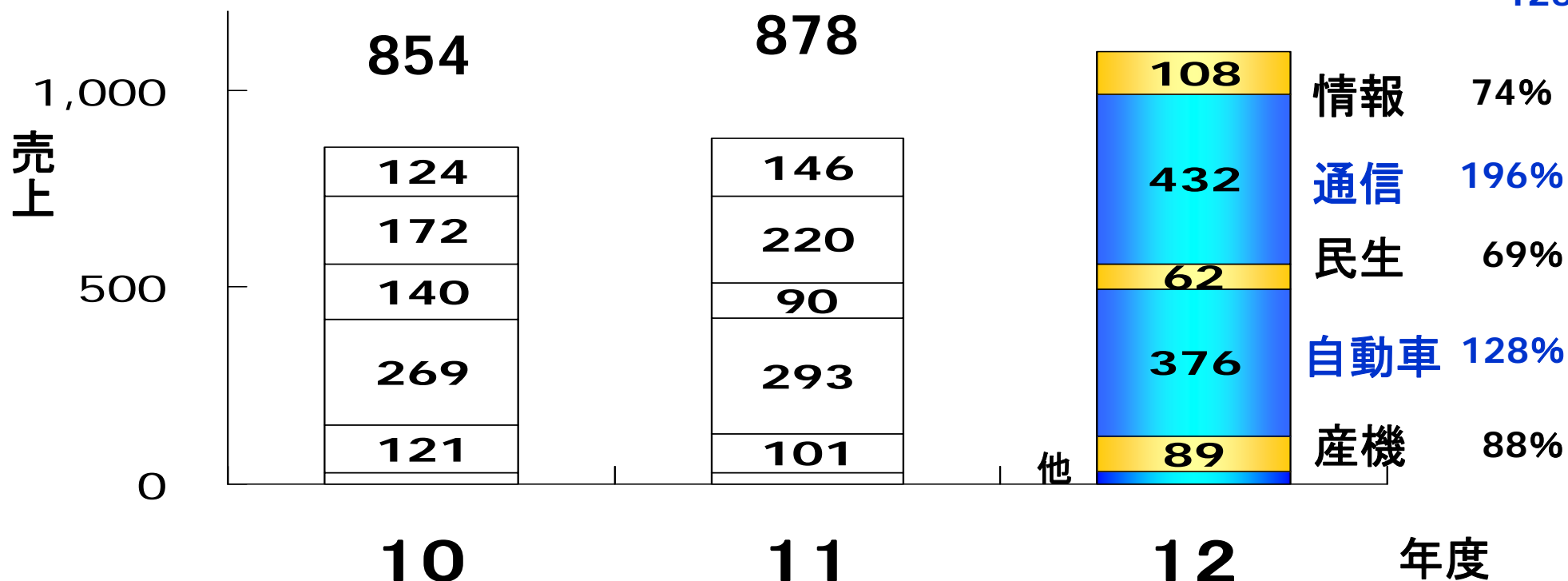
営業利益  
(率)

50

前年比  
125%

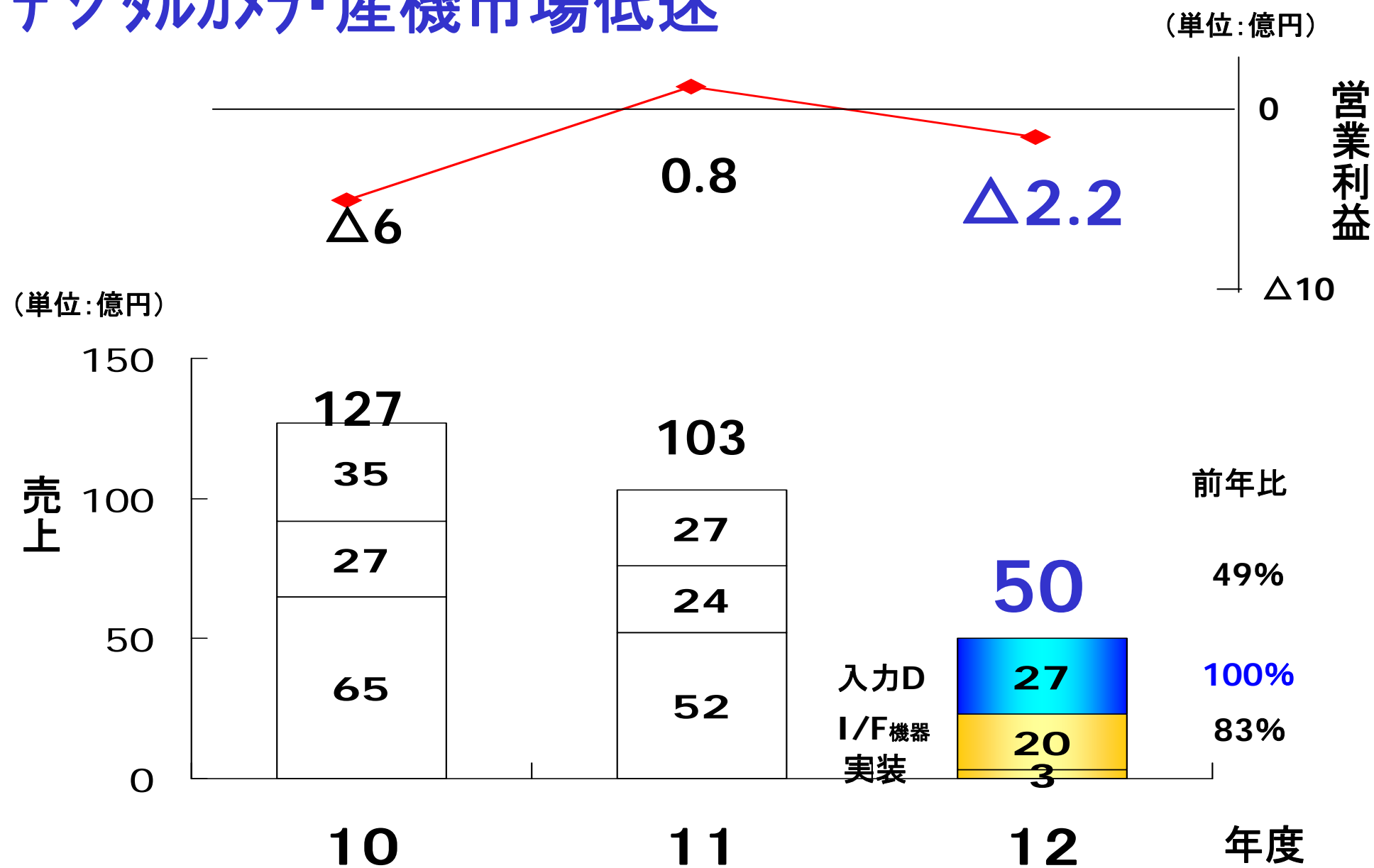
(単位: 億円)

1,098



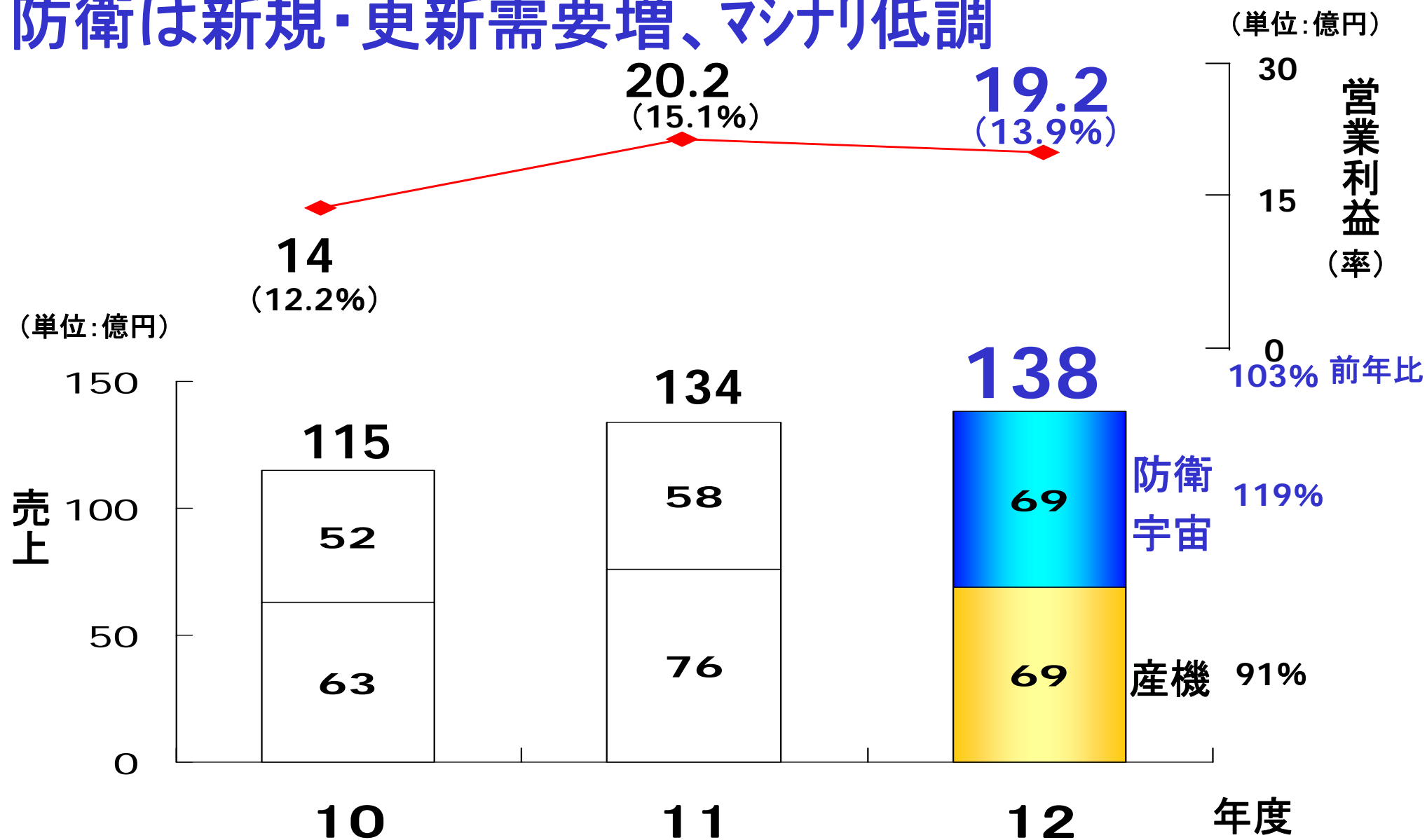
# 2(2). セグメント別売上 UIS事業

## デジタルカメラ・産機市場低迷



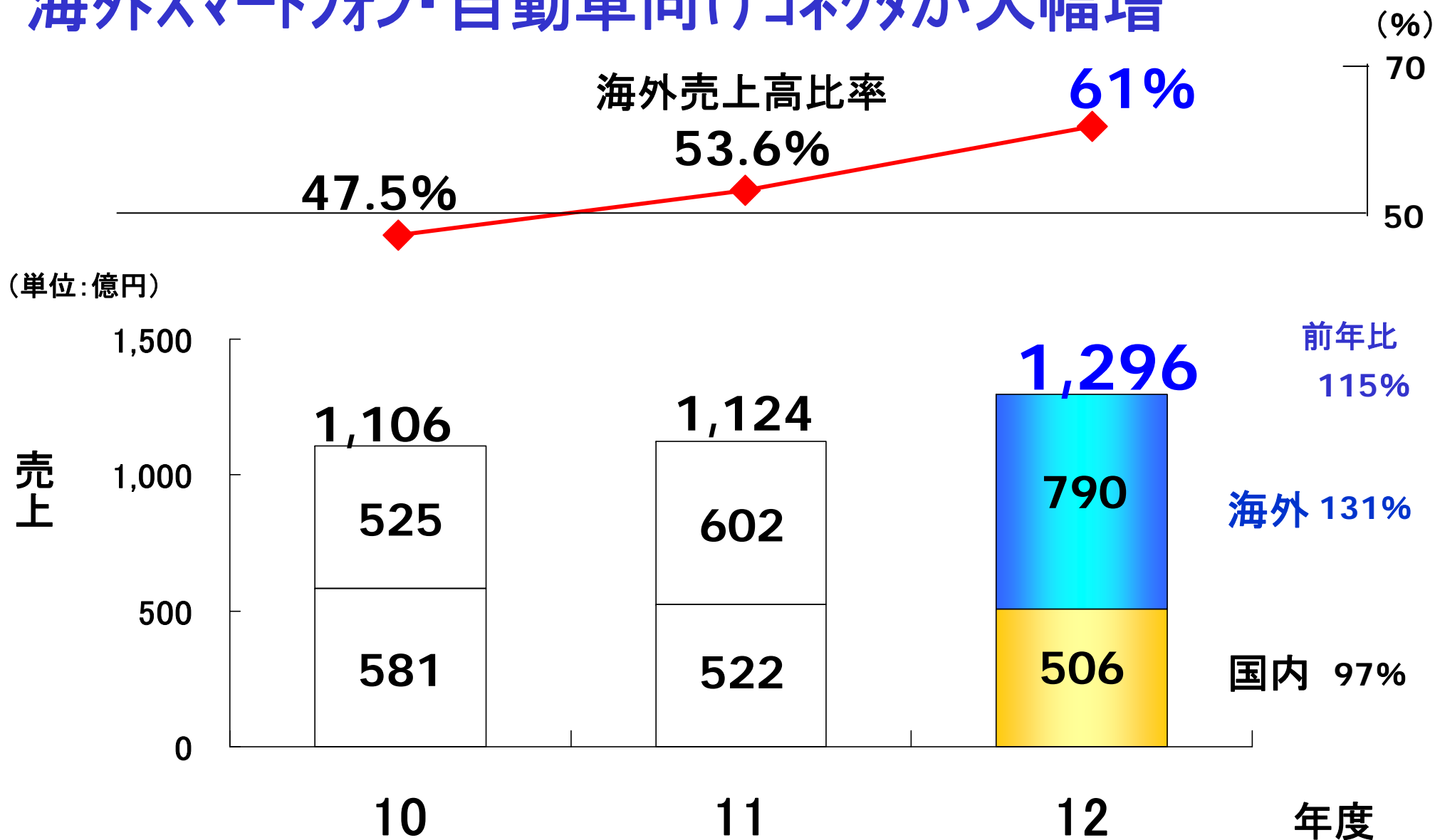
## 2(3). セグメント別売上 航機事業

防衛は新規・更新需要増、マシナリ低調



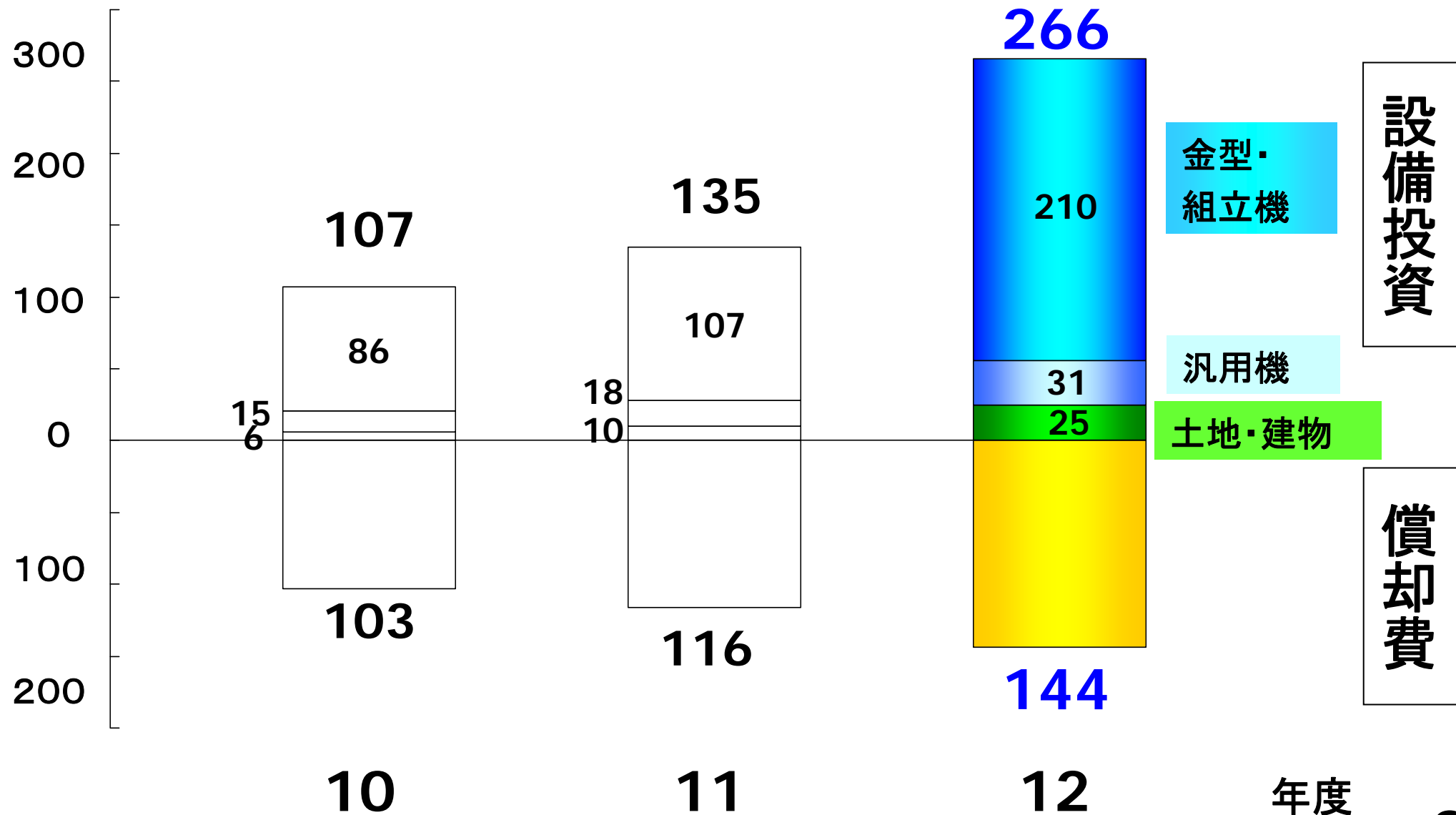
## 2(4). 地域別売上高/海外売上高比率推移

### 海外スマートフォン・自動車向けコネクタが大幅増



# 2(5). 設備投資及び償却費

(単位: 億円)





# 3. 12年度決算総括

## 市場環境 通期では厳しい一年

経済環境： 欧州財政問題再燃で、先進国・新興国ともに景気回復鈍化。  
日本は3Qまで円高の進行、デフレ・株安に苦悩。  
4Q以降、各国の金融緩和政策や安倍政権への期待感  
から、円高是正方向へ。

エレクトロニクス関連市場： スマートフォン・タブレットPC、自動車は引続き堅調

## 当社の取組み 成長する市場・機器へ積極対応

【国内】最先端製品を徹底した内製化・自動化・省力化生産

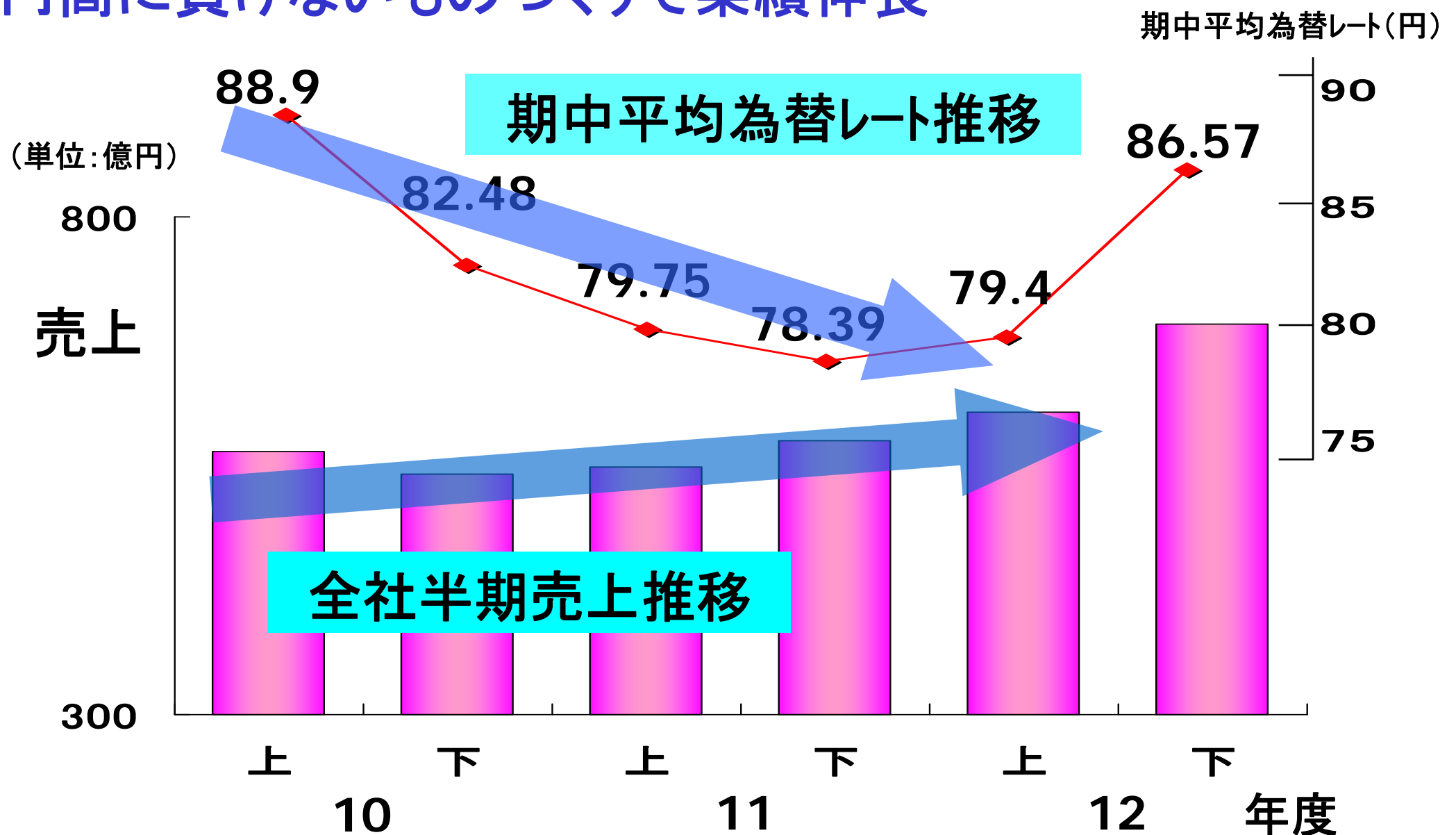
【海外】顧客ニーズに応え、メキシコ、フィリピンでのハーネス生産強化

更なる成長に向けた積極投資

(機械設備/弘前・山形・フィリピン新工場)

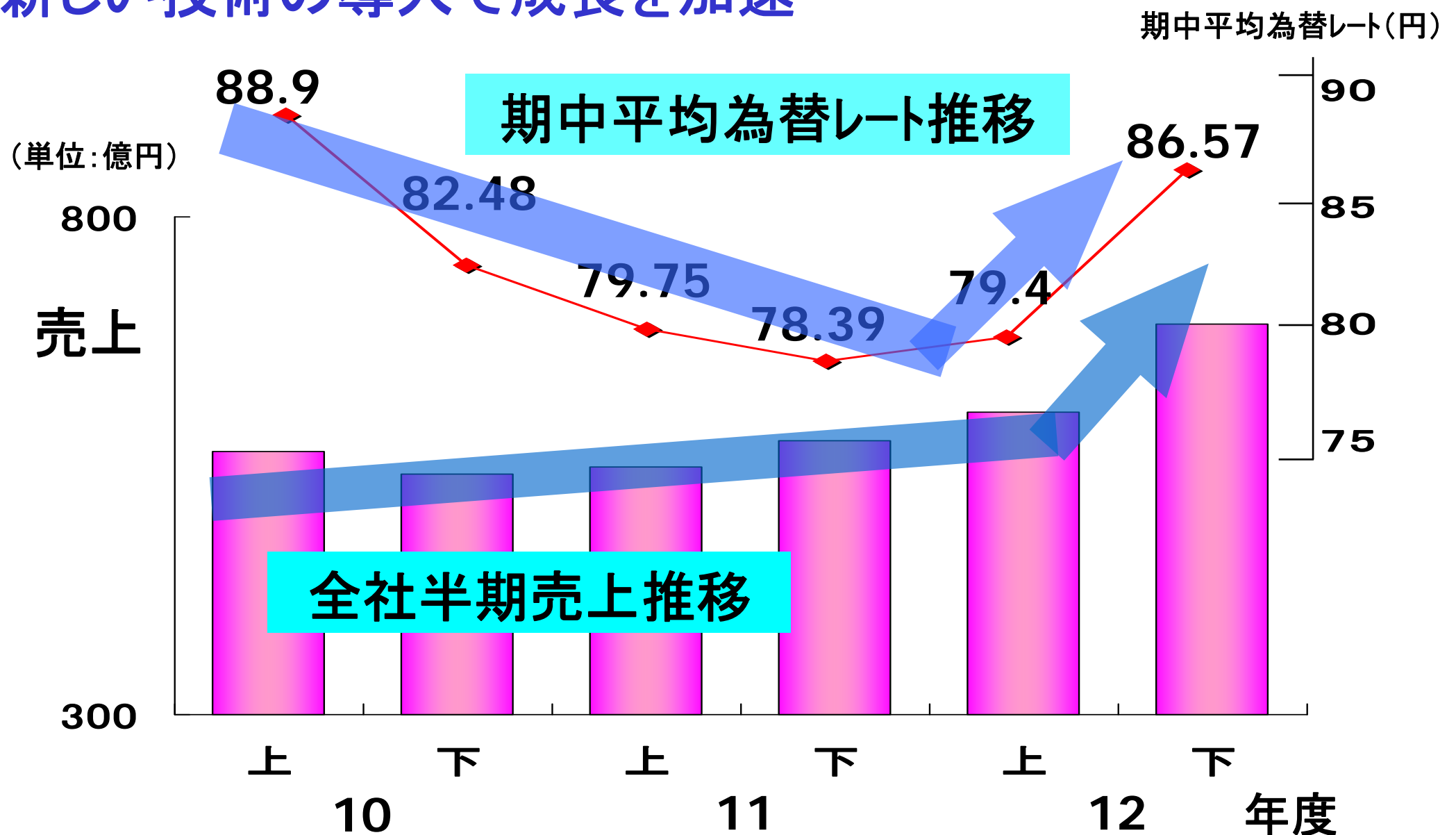
# 3. 12年度決算総括

円高に負けないものづくりで業績伸長



# 3. 12年度決算総括

新しい技術の導入で成長を加速



# 4. TOPICS

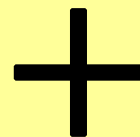
## 4. 更なる成長に向けた「ものづくり改革」

### 盟友技研(株)を子会社化

盟友技研



設備設計・製造ノウハウ



航空電子



内製化・自動化を軸とした  
「ものづくり改革力」

製作リードタイム短縮とコストダウンを推進

# 4. 更なる成長に向けた「ものづくり改革」

航空電子




新技術・製法をタイムリーに導入  
内製化・自動化・省力化で国内生産継続

## Ⅱ. 13年度通期見通し等

# 1. 13年度の基本方針

**売上高1,500億円の達成**  
**(中期フィナンシャル・ターゲット)**

- 
- ★スマートフォン・自動車市場を中心に更なる成長
  - ★産機・新市場への取組みを加速

**グローバルマーケティングと技術開発力強化**  
**内製化・自動化を軸としたものづくり改革**

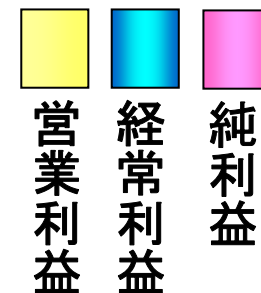


# 2(1). 13年度通期見通し(連結)

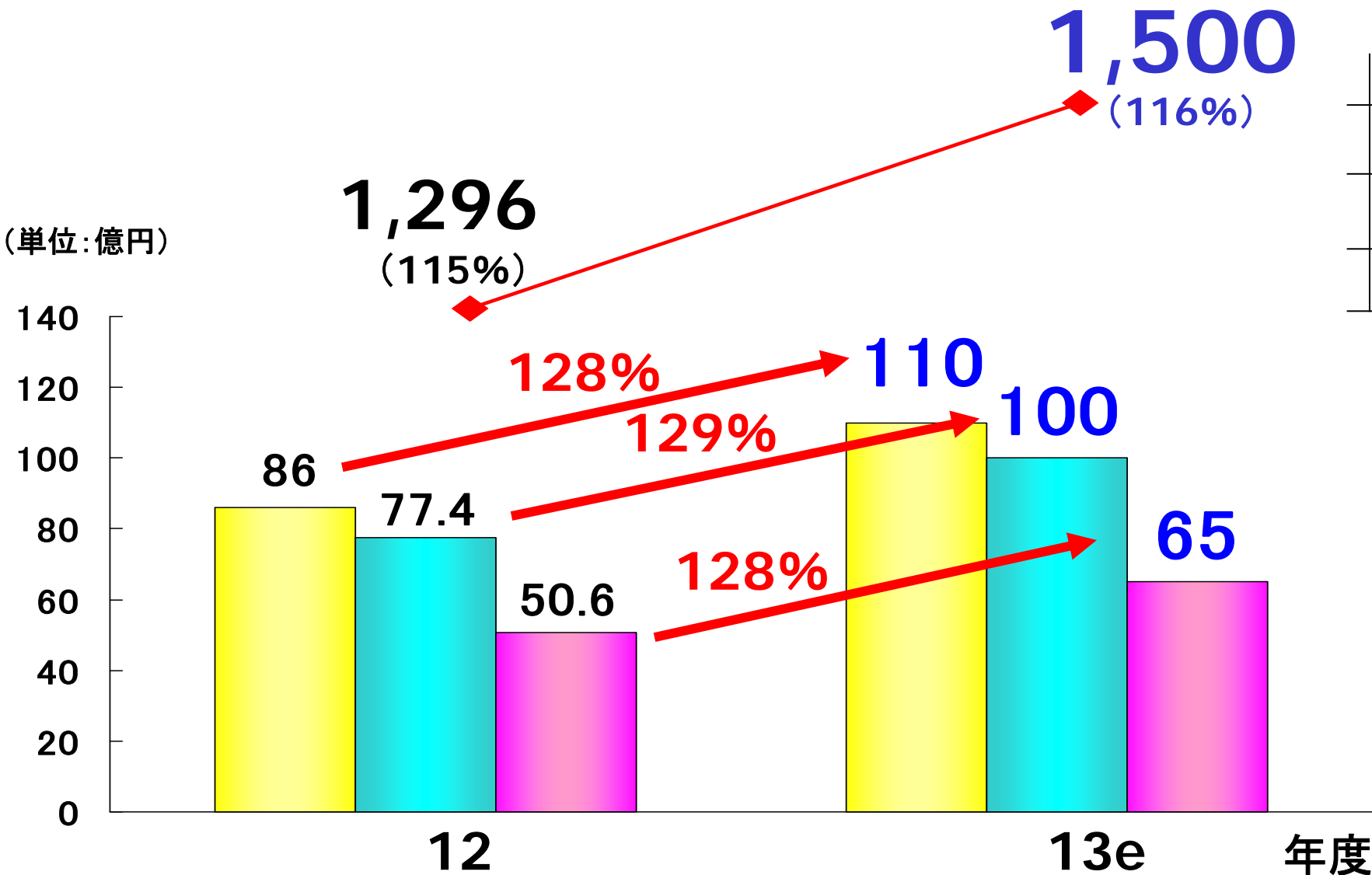
(単位: 億円)

1,500  
1,400  
1,300  
1,200

売上  
(前年比)



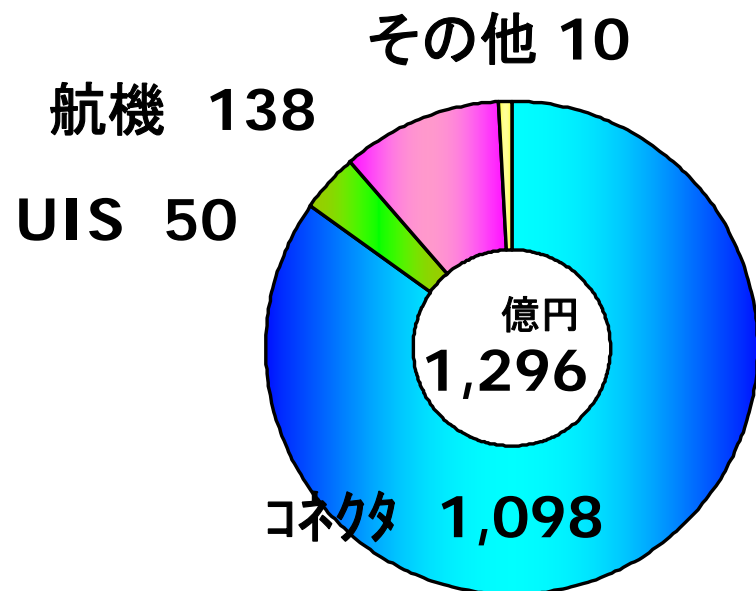
(単位: 億円)



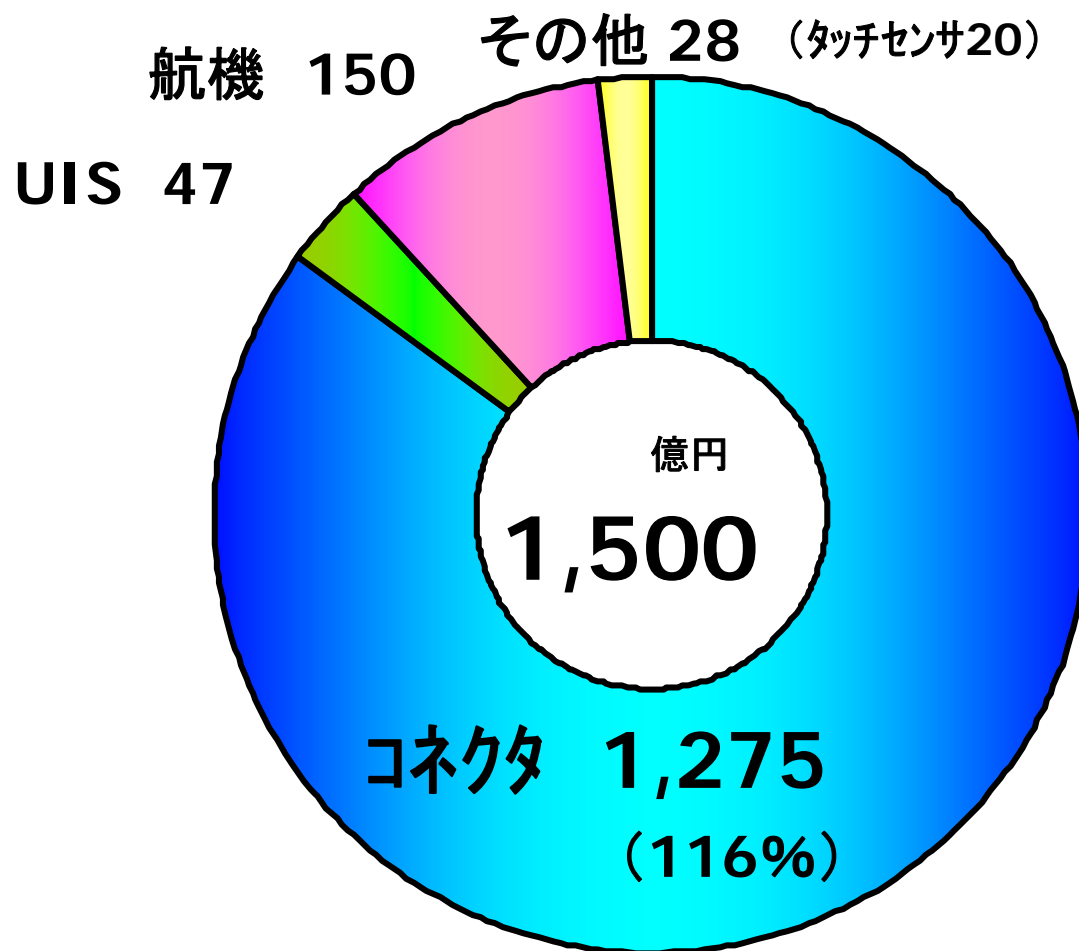
※予想為替レート: 90 円/\$ (期中平均)

## 2(2). 13年度事業部門別売上(連結)

FY2012



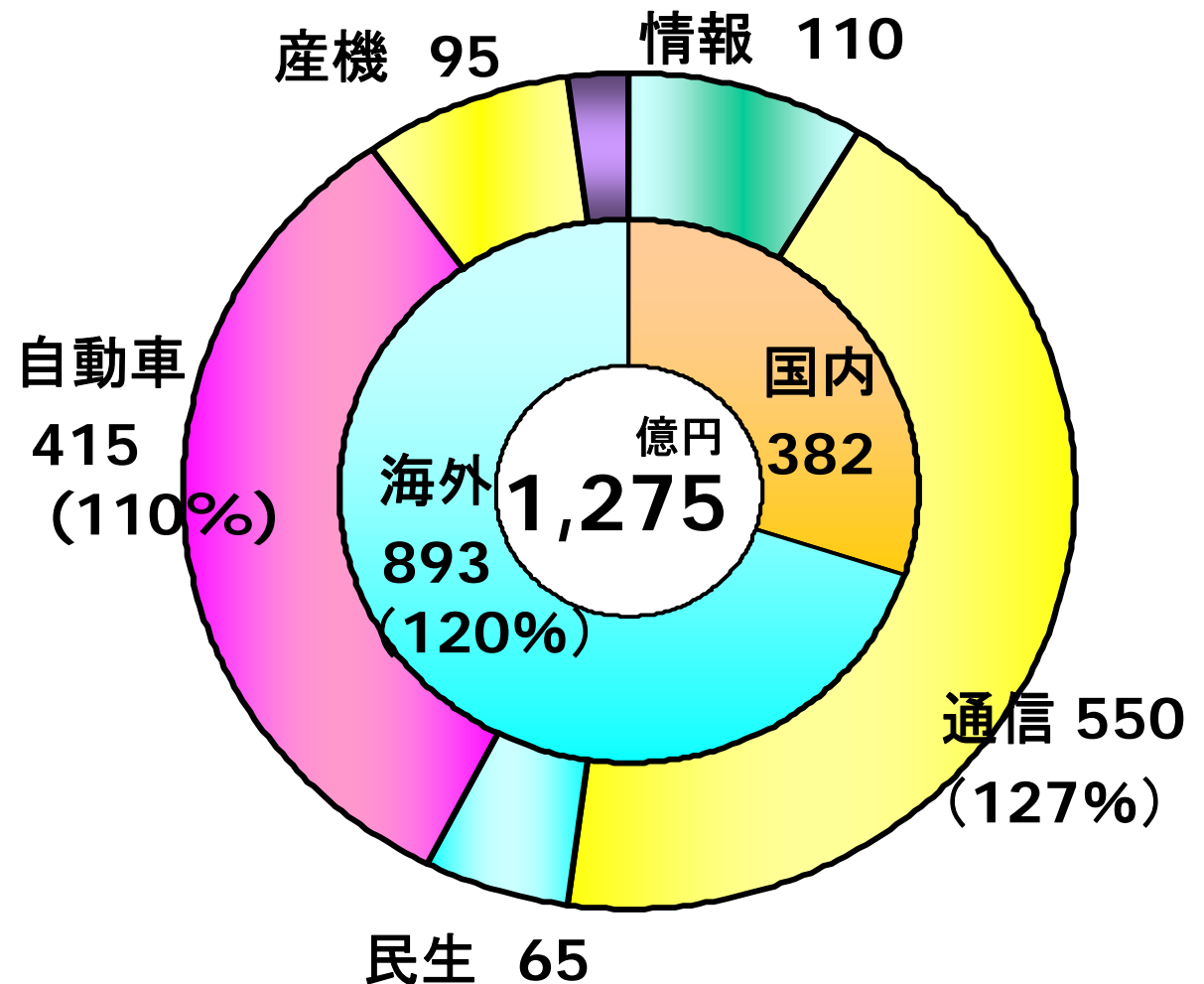
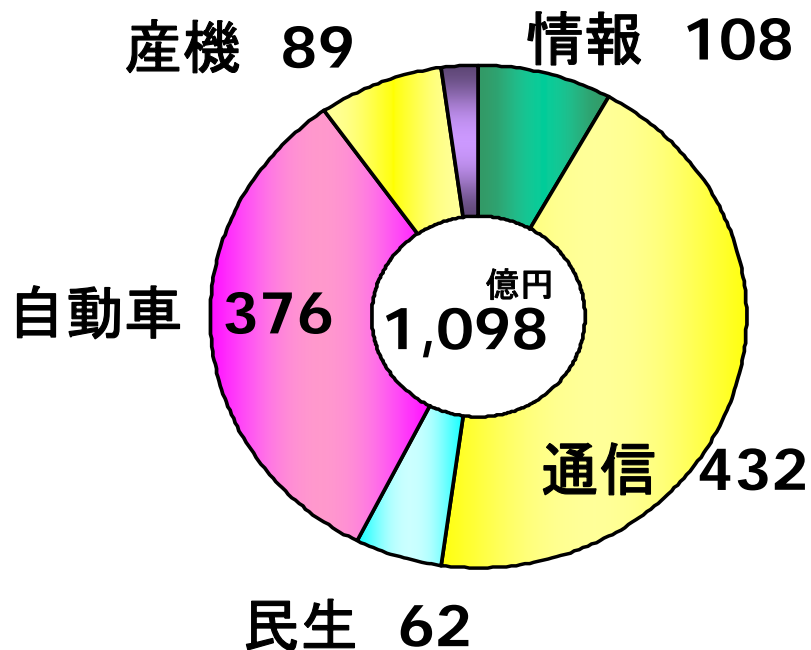
FY2013e



# 2(3).13年度コネクタセグメント別売上(連結)

FY2013e

FY2012



## 2(4). 13年度事業部門別営業利益(連結)

(単位:億円)

事業 \ 予想	上期	年度	前年比
コネクタ	57.7	127.8	+19.6
UIS	△0.5	0.0	+2.2
航機	8.5	20.0	+0.8
その他	△1.3	1.2	+2.7
配賦不能	△19.4	△39.0	△1.3
計	45.0	110.0	+24.0

# 3(1).注力する機器・製品①

## スマートフォン・タブレットPC

小型・薄型を極めた製品で攻める

Board to Board

I/O

FPC



SIM CARD

Micro SD CARD

## 自動車市場 (含むEV/HEV)

3事業で攻める



コネクタ

航機

静電タッチパネル

情報通信系／ハーネス

レソルバ・RDコンバータ

# 3(2).注力する機器・製品②

## 産機・通信インフラ

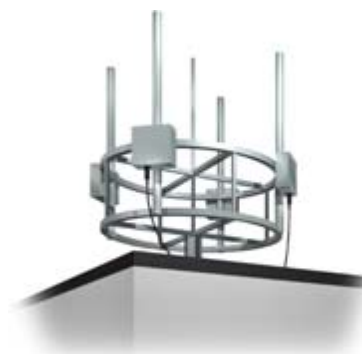
Board to Board

小型丸型I/O



ロボット・工作機械

基地局・アンテナ



光コネクタ

## スマートグリッド・LED照明・エネルギー

急速充電用コネクタ

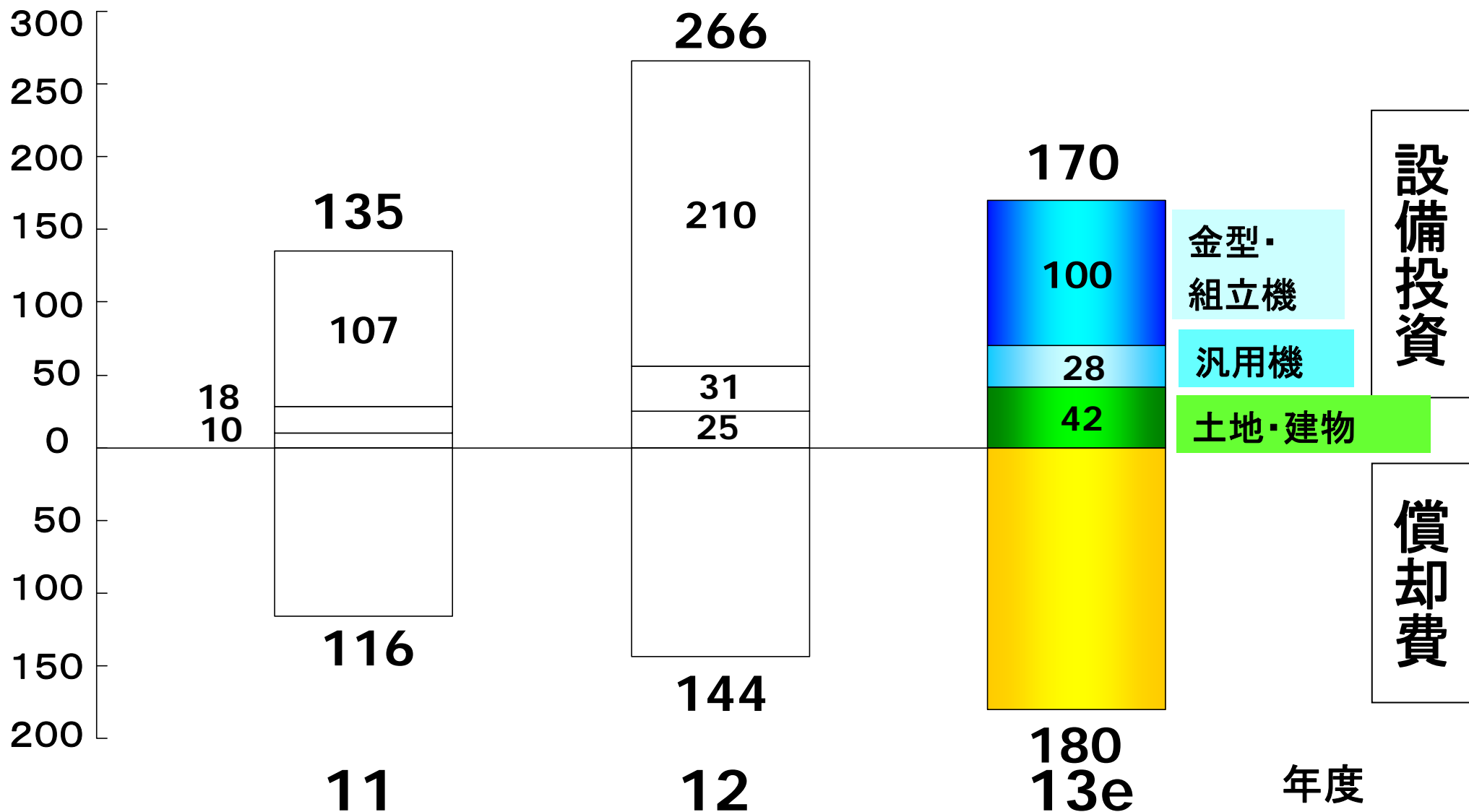
LED照明用コネクタ

蓄電池用コネクタ

# 4(1). 設備投資及び償却費

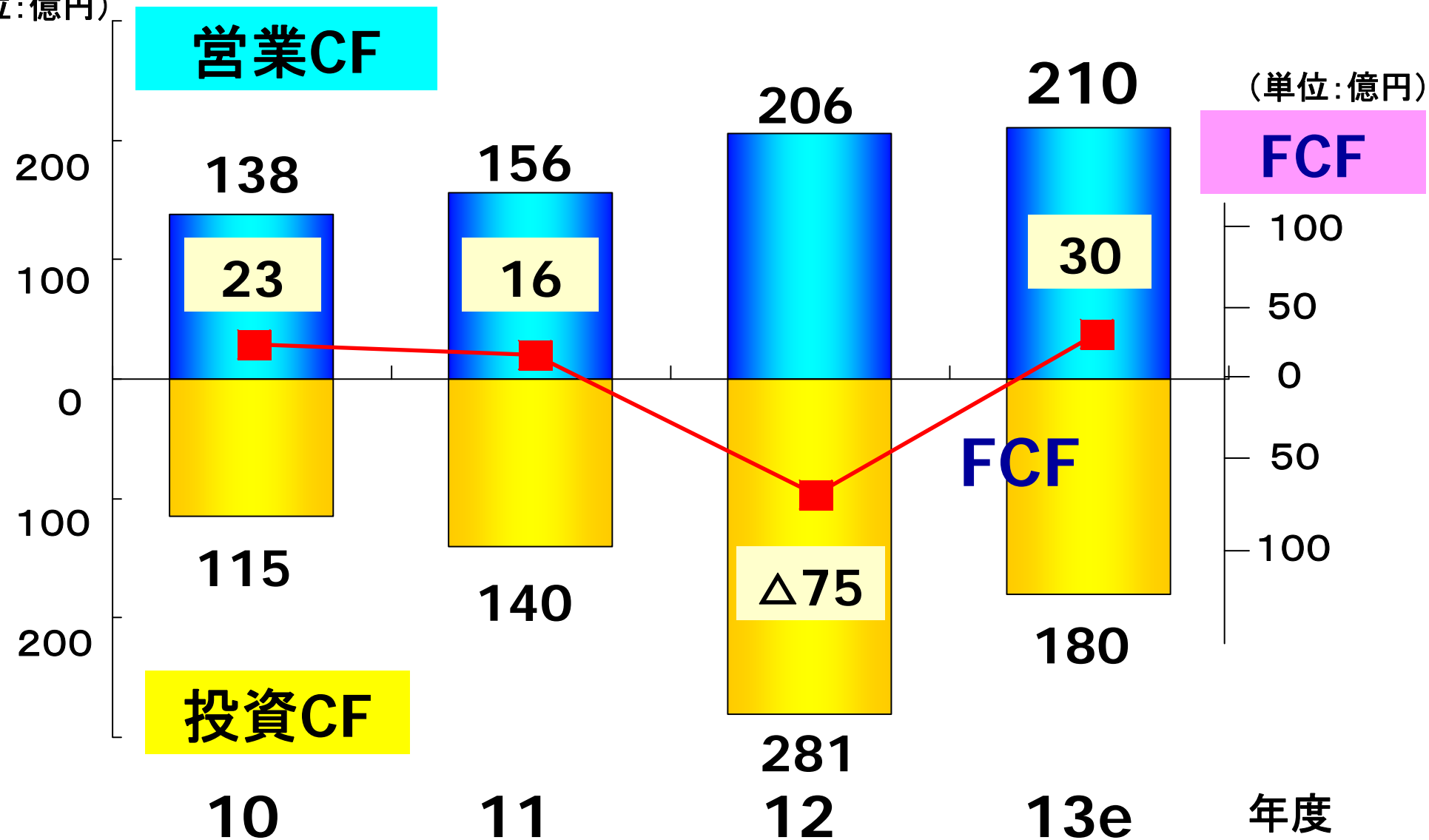
航空電子

(単位: 億円)



## 4(2). フリー・キャッシュ・フロー

(単位: 億円)





# 5. 経営改革Phase3 中期ファイナンスターゲット

(億円)

年度		10	11	12	13e	13e 中期 ターゲット
全社	売上高	1,106	1,124	1,296	1,500	以上 1,500
	経常利益率	5.0%	5.1%	6.0%	6.7%	以上 8%
コネクタ	売上高	854	878	1,098	1,275	以上 1,200
	営業利益率	10.7%	9.5%	9.9%	10.0%	以上 13%

ご清聴、ありがとうございました。

Technology to Inspire Innovation

**航空電子**

### ＜注意事項＞

本資料に記載されている当社および連結子会社（以下JAEと総称します）の計画、戦略および業績見通し・目標は2013年5月9日現在の予測・目標であって、リスクや不確定な要素を含んでおります。

本資料に記載されている目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績は、様々な要因により、見通し・目標等と大きく異なる結果となりうることを予めご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としてはJAEの事業領域を取り巻く日本・欧米・アジア等の政治・経済情勢、市場におけるJAE製品（ソフト製品を含む）に対する需要変動、競争激化による価格下落圧力、および競合各社に打ち勝ち供給し続ける能力、海外市場における事業拡大能力、事業活動に関する法規の変更やその不透明さ、潜在的な法的責任、為替レートなどがありますが、これら以外にも様々な要因が有り得ます。世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。

新たなリスクや不確定要因は随時発生することが明らかなですが、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因がある為、将来予測に関して記述されている内容が実際には起こらない場合もあります。これらの記述に全面的に依拠することの無きようお願いいたします。